



【ものづくり 人づくり 地域づくり】

40周年記念事業 (2) 生産者のお話し・座談会

生産者との

「食を通じた協同」を知ろう

2015年の総代会では、若い組合員さんより「協同」という言葉がたくさん出てきたが、私たちには馴染みがない言葉で、なかなかわかりにく」とのご意見も頂いていました。

昨年10月の「40周年協同・感謝のつどい」に引き続き、記念事業として「40年記念誌」を編纂して次の世代に引き継ごうという作業がはじまりました。

その編集会議の中で、

「私たちは生産者を取引先とは考えていない。いのちの基盤を共につくる仲間として考えてきた……。それが伝えられているか？」

「生協40年を経る中で、今あるひとつひとつの食べものがどうして入るようになったのか、生産者と組合員が共にどのように努力して大切に育ててきた食材なのかが十分に若手組合員・若手職員に伝えられていない」

「次世代に常総生協の食と協同を伝えるために、まず生産者と生協の出会い・歴史・想い、生協への意見を伺い、次世代につなぐ記録として伝えよう」ということになりました。

そこで、40周年事業の一環として公開で生産者のお話し会、座談会を下記の通り開催することになりました。

第1回目は石岡・鈴木牧場さんです。

— いのちを育む生産と消費の協同 —
生産者連続公開座談会



2月8日 (月) 10:30 ~ 13:00 生協本部組合員室

石岡・鈴木牧場

鈴木さんのお話し会
の申込みは本部までお電話か
供給担当まで



「地域の牧場と消費者～人も牛も心穏やかに
～土作りがいのちを育む / 生協との出会い～」

(これからの予定) 参加申し込みは2ページ目

2月15日 (月) 魚住道郎 (日本有機農業研究会) 「いのちの基盤を守る協同」

2月22日 (月) 長島昌裕 (微生物農法の会) 「天と農の哲学」

3月 7日 (月) 影山治雄 (おかべや) 「国産大豆に寄せる想い」

2月8日（月） 10:30 ～ 13:00 生協本部組合員室

鈴木牧場

「地域の牧場と消費者一人も牛も心穏やかに
～土作りがいのちを育む / 生協との出会い～」

当日は、鈴木さんご夫妻（昇さん・ともえさん）といっしょに、牧場の一員となった
息子さんの績（いさお）さん・美登里さん夫婦（右写真）も参加です。ご紹介します！



（これからの予定）各 10 ～ 13 時 生協本部組合員室

2月15日（月） 魚住道郎（日本有機農業研究会）「いのちの基盤を守る協同」

2月22日（月） 長島昌裕（微生物農法の会）「天と農の哲学」

3月 7日（月） 影山治雄（おかべや）「大豆に寄せる想い」

このあとひきつづき、福島・東北の生産者を予定しています。

キリトリ

生産者連続公開座談会参加申込書（○をつけて下さい）

- ☒ 2/ 8（月） 鈴木牧場（お電話または供給担当に申込み下さい）
- ☐ 2/ 15（月） 魚住道郎（日本有機農業研究会）
- ☐ 2/ 22（月） 長島昌裕（微生物農法の会）
- ☐ 3/ 8（月） 影山治雄（おかべや）

コース名 _____

班名 _____

組合員No. _____

お名前 _____

2/14 (日) ストップ TPP 茨城大集会へ、消費者も合流しよう！

食の安全確保や食糧自給の放棄に等しい TPP。医療も保険も庶民や弱者保護ではなく市場にゆだねてゆくのが TPP です。

政府は「TPP 国内対策をするから大丈夫だ」と言いますが、その内容は企業農業優遇、家族経営切り捨て、皆保険崩壊・金持ちしか医療を受けられない政策です。

安易に自由競争にまかせれば、世界の企業とそれに対抗する国内企業の競争の中で、食の安全も基盤も、社会保障もたちまちのうちに食い荒らされてしまうことになります。これでは国は不要になります。

集会では各界からの発言、第2部では **TPP に徹底して異議申立てをしている東大の鈴木宣弘**さんが TPP の本質、全貌をお話してくれます。

いのちとくらしを守れ

ストップ TPP 茨城大集会

これからの運動で止められます

「大筋合意」は国会決議違反

食料生産に大打撃をあてるだけでなく、食の安全や医療などあらゆる分野で、企業の利益を優先し、くらしを壊すものです。

TPP が発効するには、条文の確定、調印、各国議会の批准などの手続きが必要です。日本がアメリカかどちらか一国でも批准しなければ発効しません。たたかいはこれからです。

2016. **2/14** (日) 午後1:30~3:40 (午後1:00開場)
つくば国際会議場大ホール つくば市竹園2-20-3 TEL 029-861-0001

農業・食の安全・医療・地域経済を救おう

参加費 500円 (資料代)

【第1部】 各界からの発言

農業、食の安全、医療、地域経済、国民民主権...

【第2部】 鈴木宣弘氏の講演 (東京大学教授)



鈴木宣弘 (すずき のぶひろ)

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業。農林水産省、九州大学教授を経て現職。『TPPで暮らしは変わる?』(共著、岩波ブックレット)など著書多数。JAグループ茨城の依頼で、TPPの県内農畜産物への影響を年649億円減収と試算。NHK日曜討論にも出演。

◎どなたでも参加できます

◎集会終了後、デモ行進を行います

〈呼びかけ人〉 (順不同)

田中重博 (茨城大学名誉教授) 二見伸明 (元運輸大臣) 塩田尚 (つくば市議会議長) 市川紀行 (元美浦村長) 先崎千尋 (元瓜連町長) 山本千秋 (元森林総合研究所長) 山川文男 (茨城県民連会長) 松澤博 (茨商連会長) 榊原徹 (茨城労連議長) 鯉沼康浩 (茨城自治労連執行委員長) 河野恭子 (新婦人県会長) 森川辰夫 (元農研センター・元弘前大学教授) 桜井信雄 (農民連全国委員) 岡野忠 (茨城農連会長)

〈主催〉 ストップ TPP 茨城大集会実行委員会 (実行委員長 岡野忠)

〈問合せ〉 TEL 029-292-8732 東茨城郡茨城町上飯沼626茨城農民連内



環太平洋経済連携協定「TPP」についての常総生協理事会の見解と
組合員・生産者意見集約、地域自給に向けた提議強化に関する決議

2010年11月29日
常総生協同組合理事会

政府は「TPP」(環太平洋経済連携協定)参加の意思を示し、来年(2011年)11月の次期APEC首脳会議での締結に向けて、6月までに「農業改革基本方針」などを示すこととしています。

農水省の試算では、TPP参加によって輸入農産物は津波のように押し寄せ、日本の農業は激減、食糧自給率は14%になるとされています。農畜産物の安全基準もアメリカ標準にまで下ろされていくことを意味しています。

私たち生協の消費者と生産者は、安心の国内食糧自給を共通の目標として地域で手を結び、お互いの信頼を基礎に努力を重ねてきました。

今回のTPP参加は、こうした国民の関心と努力を無に、国内の食料生産を犠牲にしても工業製品を外国に売ることが優先されているように思えます。

我が国は食料自給率40%という先進国の中で最低の状況であり、しかも世界の食糧生産は需給逼迫が予想されるとともに、不安定さを増してきています。

食はいのちの糧であり、国民の健康の基礎です。第一次産業が国の基礎である以上、食料を安易に市場競争や自由貿易に任せるべきではありません。「国際競争力」以前の課題です。国は、国民の食料確保と自給を国の政策の根幹に据えるべきです。

こうした、国民の食にかかわる重大な政策について、これまでのところ正しい情報提供や、充分な国民議論ができていないと思えます。将来の子どもたちのために、国や世界の将来のために、とりかえしのつかないことのないよう、冷静で慎重な議論を重ね、みんなで考えてゆくことが今大切だと思えます。

地域生活協同組合として、組合員ならびに国内生産とその加工に努力している生産者からの意見・情報を集めて意見交換し、来春までに消費者・生産者の共同の意思をとりまとめて意見表明することとします。あわせて地域の中での意見交換を重ね、「協同組合提携」、「農工商連携」をすすめる役割を果たすよう努力します。以上決議します。

いのちの糧をつくる国内農業を守る

史上最大の輸入自由化

TPP「大筋合意」は、農林水産物の81%で関税を撤廃するとしています。日本に農林水産業がなくなってもかまわないと言わんばかりの、史上最大の輸入自由化です。「聖域」としていた米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味原料作物(国産品自給率としては866品目)の30%の関税を撤廃し、米の輸入を新たに7万8400トン増やし、牛肉の関税を4分の1に、豚肉の関税を10分の1にするなど、明白な国会決議違反です。

鈴木宣弘氏の試算では、農林水産物は1兆円以上の打撃を受けます。

輸出1兆円? 農畜産物のたつた1%

政府は、食品輸出を1兆円に増やすから農業にとってもチャンスだといいますが、この半分以下が国内農産物であり使わない加工品で、農畜産物は835億円、農産物輸出額の1%にすぎません。

「対策」で農業守れないのは実証済み

政府はTPP対策費3千億円などで国内生産を守るとしていますが、95年のWTO発足後は6兆円の対策費を出しても、産出額は20%減り、農産所得は39%減りました。

いのちとくらしを脅かすTPPにストップを

TPPは「アリ地獄」

「大筋合意」は、協定を結んだ後も、小委員会や二国間協議などで、さらなる自由化・規制緩和を求められるアリ地獄のような内容になっています。

国の主権を損なう ISD 条項

政府は、①異議申し立ての権限を公開する②提訴機関を制限するといっていますが、外国企業に損害があれば賠償を求められる基本は変わりません。

食の安全基準を緩和

「大筋合意」では、遺伝子組み換え食品は厳格な科学的証拠がなければ規制できないとして、表示基準の制定にも「透明性の確保」を求めています。詳しくは不明ですが、基準策定に企業を関与させる懸念があります。

医療もカネにしたい

ジェネリック医薬品の解禁期間延長や今後の薬価の決定ルール協議でアメリカなみの高薬価になるおそれがあります。すでに国民健康保険制度に向けた動きははじまっており、国民健康保険制度が揺らぐことが懸念されています。

「合意」内容を全面公開せよ

TPP協定の成文書に日本語がないことが異常です。「大筋合意」の邦訳もまだごく一部しか公表されていません。「交渉」により収束した情報については、国会に速やかに報告するとともに、国民への十分な情報提供を行い、幅広い国民的議論を行うよう措置することとした国会決議にも違反しています。

ストップTPP茨城大集会実行委員会

常総生協も2010年の理事会決議のもとで、**ストップ TPP 茨城集会 (つくば国際会議場)**に参加します。ぜひ多くの組合員、生産者の参加を呼びかけます。会場入口「常総生協」の旗の下に参集ください。

「小さな上映会だより 2015-(7)」(生協DVD貸出状況) 脱原発とくらし見直し委員会

※昨年春に感想頂いていたもので、6月ニュース掲載に漏れてしまったものがありました。お詫びします。

タイトル	観た人数	観た場所	観た組合員さんの感想(お礼の言葉は一部省略しました)
双葉から 遠く離れて	1	自宅	双葉町の全町民が避難という結果になり、町民の苦しみは耐え難いものがあったと思います。また町長さんが最初は原発を受け入れ、爆発があったからの国や東電の態度で、反原発に考えが変わっていく過程に厳しさを感じました。
	1	自宅	様子がよく解りました。皆さんがその後どう過ごされているか気になります。
	4	韓国YMCA会議室	私たちの会は、化学物質被害で、自宅に住めなくなった人が多い。原発の被害者と同じだが、どこからも救援を受けられず、自動車の中で、逃げ回りながら夜を過ごし、風呂にも入れない人もいます。社会的に差別され、捨てられている。健康も害し、仕事も失う人もいます。原発と共通であるがそれ以上みじめかもしれない。
サクリファイス	4	韓国YMCA会議室	はじめは軽症で、徐々に重症化し、医者に手立てがなく、死に至る。国や社会から差別され見捨てられる犠牲者達。自に見える形で示されたこの説得有る映像は、福島被害者達の10年後かもしれない。また化学物質被害者の今日の姿かもしれない。説得力のある貴重で、優れた報道のDVDである。迫力があつた。
	1	自宅	今、観ておいてよかったです。機会があつたら友人とも文観て共有したい内容でした。
チェルノブイリ ハート	2	自宅	事故から4年がたちました。自分の意識も当時よりゆるくなっています。気をひきしめて、出来るだけ気をつけていきたいです。ありがとうございました。
真実はどこに WHOとIAEA	1	自宅	様々な病気を抱え苦しんでいる子供達の暗い表情が印象的でした。子供達の体調不良を目の当たりにし、何とか救いたいと奔走し、訴える医師達。彼らの意見を聞こうとしない学者達。このDVDでは、WHOとIAEAの癒着も垣間見えました。チェルノブイリの教訓を福島で生かすことの意味を考えると共に、その難しさも痛感しました。
祝の島	3	自宅	もう30年もお金に心奪われることなく、信念をもっていらっしゃる方がこうしていらっしゃることがわかりました。今の私に何ができるのか問いかけられました。
赤とんぼがい ない秋	1	自宅	乙戸南(土浦市)では、8年程前の5月から急にトンボが全滅した。全国的にアンケートを配って調べたら、市街地や山間の方が、生物が残っていて、田の近くで急減し、生物種類も急変したことを知った。このビデオで、茨城県は全国でも1位に農薬被害が多いことを知った。後半の人に対する影響の話もよい。健康影響の実態をもっと詳しく知らせたらもっとよかった。
ミツバチからの メッセージ	1	自宅	強い農薬・・・規制ができないのか?カエルもトンボもカブトムシも、、、小さくなり少なくなったと感じています。
ミツバチの羽音 と地球の回転	5	自宅	未来のエネルギーを考えることが出来ました。
	4	韓国YMCA会議室	西欧の環境対策が、経済の発展をさそもたしている様子に政治の賢さを感じた。環境は人の生活の基盤であるのに、日本では何と愚かにも、無視されていることか。環境をしいたげる者は、人をしいたげる者である。環境専門の裁判所があることも羨しかった。
フードインク	1	自宅	想像以上でした。空気中合成化合物の有害性を問題にしていたのですが、食品と共通の原因、機構が読み取れました。この内容を、皆に知らせ、行動にうつします。
	1	自宅	お肉を食べなくなりました。消費者が賢くなれば世界は変わるのでしょうか・・・。体に良い食べ物ほど高いなんて、おかしい世の中です。
未来の食卓	4	自宅	フランスは農業大國、ヨーロッパは安全基準に厳しい。だからフランスの食べ物は安心、のようにかんがえていたのに、驚きの内容でした。特に農家の人、子供達の健康被害の多さ、それが放置に近いところにショックを受けた。しかし、人々の行動、考え方の変容に勇気をもらいました。なぜオーガニックを支持するか、それは自分の健康のためのみならず、未来の人類を守るため、という明確な考えがもて、信念を強くしました。広く多くの方にみて頂きたいです。
	2	自宅	給食を通して、子供達を教育する取り組みはすばらしいと思います。手遅れにならないうちに地球の健康を取り戻す試みが広がって欲しいです。
	3	自宅	村全体で環境問題に取り組んでいけるなんですばらしい。1番大切なことは子供達の未来を考えること。まずは給食から見直すということは日本でも取り組んでいけるとよいと思う。
モンサントの不 自然な食べ物	2	自宅	モンサントが何なのかも分からず見ましたが、知らない大変な事でした。よりいっそう「遺伝子組み換え」について、食べ物ではないと認識しました。人にも伝えていきます。これを政府は見ないのでしょうか??
誰も知らない 基地のこと	1	自宅	基地問題がある今、みなさんに見て頂きたい映画です。是非、組合員をつのって観て共有したい内容です。ここから多くの社会のことが見られると思います。
	1	自宅	イタリアの若手監督2人の制作によるドキュメンタリー、冷戦終結後も、世界38ヶ国に716のアメリカ軍事基地があり、防衛力として存在するはずの軍隊が、軍隊存続のために敵を必要とする覇権国家アメリカ帝国の現実をしらされます。現実、真実を知ることの大切さをしみじみ感じました。

DVD 貸出の申込みは、注文書意見欄に題名と貸出希望と書いて生協まで。